

AG5

補習授業校情報交換会 #8

補習授業校の複式授業

各地の開始時刻
2020年6月21日(日)

USハワイ	4:00AM
US太平洋	7:00AM
US山岳部	8:00AM
US中部	9:00AM
US東部	10:00AM
英国等 (西ヨーロッパ)	3:00PM
仏独等 (中央ヨーロッパ)	4:00PM
タイ等	9:00PM
中国等	10:00PM
日本	11:00PM



・マイクのミュートを解除して
お話しください。

<画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。



スピーカー・ビュー

話している人が大きく見えます。



ギャラリー・ビュー

多くの参加者の表情が見えます。

出席者所属校

アムステルダム	コロンバス	ベルリン中央学園
アルザス	サウスカロライナ	ポートオブサクラメント
イスタンブール	ジュネーブ	北東イングランド
ウエストバージニア	ダラス	マーストリヒト
オースチン	ディジョン	マルセイユ
オマハ	ニューオリンズ	ミュンヘン
カールスルーエ	ニューポートニュース	ミラノ
グアナファト日本人学校	ニュルンベルク	モンペリエ
グアヤキル	バンコク日本人学校	ユタ
グリーンビル	プノンペン	ロチェスター
コペンハーゲン	プノンペン日本人学校	ワシントン

本日の予定

1. 各校からのレポート
アルザス
ニュルンベルク
ロチェスター
マーストリヒト
オマハ
2. 質疑、コメント、意見交換

(終了後) **雑談タイム** 15分

5、6人のグループで自由懇談

- ・お時間のある方をご参加ください。
- ・グループはコンピュータが自動で分けます。

◆ これからの情報交換会の予定

9 7月5日(日) 「日本語で本を読ませる」(保護者も参加)

10 7月20日(月) 「低学年の算数」

(その後のテーマ候補) 「もっと聞きたい。幼稚園、どうしてますか」

リクエスト等は、 nsassaykhm@me.com 佐々(海外子女教育振興財団)まで。

◆ ごらんください。

AG5補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団(JOES) <https://www.joes.or.jp>

◆ 出席者と連絡を取りたいとき

・ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。



ここが聞きたい！

◎一昨年度まで中2・3複式クラスでしたが、昨年度より全学年単式化が実現したばかりです。しかし今年度、突然小1の入学者がゼロとなりました。年度途中での転入もあり得ます。そうなった場合、小1・2など低学年での複式化が懸念されています。小1という特別な学年での複式が可能なのか、どう対応すべきかお聞きしたいと思っています。

◎お尋ねしたいことがあります。

- 1：zoom授業をどう評価に入れるか
- 2：学校開始時における注意点。もし、発熱者が出たら、どう対応するか
- 3：今年の国際交流系行事はどうするか

◎お聞きしたいこと

- 1、一方の学年を教えている時、もう一方の学年が課題に集中していない場合の対処法
- 2、2学期から登校再開を検討していますが、他校は開校されるのでしょうか?(1週間前倒し、感染拡大防止対策について)



各校から

✿ アルザス *****

複式学級の授業をスムーズに行う方法の1つとして、本校では、学習支援ボランティアの方々に授業のサポート役をお願いしています。

例えば、教科書の音読や読解問題に取り組む時、教科書ごとにグループに分けて、各グループに1人ずつサポート役が付き、音読を聞いたり、子供達が集中して課題に取り組めるようサポートします。

講師は全体を見て回り、サポート役に指示を出したり、質問に答えたりしながら、グループごとの学習が順調に進んでいるか確かめます。

こういった形をとることで、複式学級でも教科書の音読や読解を同時に行うことが可能になりました。

サポート役として、留学生や駐在員の家族、補習校の卒業生も関わってくれており、子供達にとりましても先生や家族以外の人達と日本語で話す良い機会になっています。

参考：公式ウェブサイト内『学習支援ボランティア』案内ページ

<https://www.alsace-hoshuko.org/volunteer>

アルザス補習授業校 校長 佐々木純子

オンライン期間の複式授業で気をつけている点

ニュルンベルク補習校 根元

前半の時間割（中2・中3の総合）

9:10-9:30: 朝の会と宿題の確認と連絡事項

※宿題確認
 ※今日は数学のテストです！
 ※ニュース当番は さん

【総合】 9:30-11:05

- ① 目標 4 と目標 5 の確認&共有
- ② 目標 6 の「表題」についてまとめ
- ③ 目標 6 の「取り巻く状況」についてまとめ
- ④ 目標 7 の「表題」についてまとめ
- ⑤ 目標 7 の「取り巻く状況」についてまとめ

後半の時間割（中2 国語・中3 国語）

【国語】 11:10 - 12:40

11:10 - 11:40
 中3: 月の起源を探る プリント A・B・C 提出→答えの確認 DE
 中2: 生物が記録する科学 D(調べ学習): インターネットの上手な使い方

11:40 - 12:20
 中3: 月の起源を探る プリント DE を取り組む
 中2: 生物が記録する科学 C の意見交換と E を取り組む

12:20 - 12:40
 中3: 1 学期の文集について
 中2: 1 学期の文集について

12:40-12:50: 帰りの会と数学のテスト

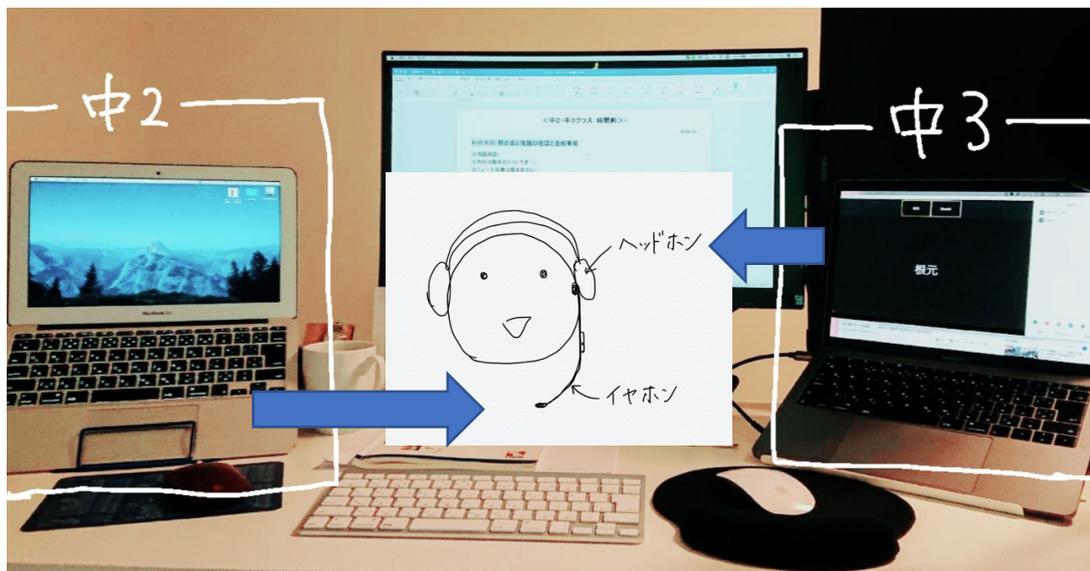
【テクニック面】

全体：マイクの性能を少し意識→ スマホ付属のマイク付きイヤホンでも音質は向上されますので、マイク付きイヤホンにするだけでも試してみる価値あります！

全体：スピーカービューとギャラリービューの指示を常に出す

総合：Google ドキュメントでデータを編集する時は色か自分のフォントを選ばせる

国語：2つのアカウントでブレイクアウトルームを使用→大変効率が良い！



【教務面】

- 常に平等を意識（範読は隔週交代・発言権など）
- 必ず授業の最後に取り組んだところまで提出させる
- 時間は本当はないけれど、たまに雑談をする

【質問への回答まとめ】

(1) 一方の学年を教えている時、もう一方の学年が課題に集中していない場合の対処法

→ぜひ私も先生方のアイディアを伺いたいです。

個人的には前提条件として課題を出す際に下記5点に気を付けるようにしています。こちらの出した課題が下記をクリアしていないと、生徒も集中しきれない様子です。

- ①スキルの多様性→適切なレベルで自身の技能を使えるか
- ②課題の完結性→部分ではなく全体を把握できているか
- ③課題の重要性→他者に影響があるか
- ④自律性→課題の量や進め方に問題がないか
- ⑤フィードバック→自身の課題に対する評価がもらえるか
(もらえると思って生徒が取り組んでいるか)

(2) 一昨年度まで中2・3複式クラスでしたが、昨年度より全学年単式化が実現したばかりです。

しかし今年度、突然小1の入学者がゼロとなりました。年度途中での転入もあり得ます。

そうなった場合、小1・2など低学年での複式化が懸念されています。

小1という特別な学年での複式が可能なのか、どう対応すべきかお聞きしたいと思っています。

→ ニュルンベルク補習校も中規模校なので、複式はどうしても出てしまうのですが、基本的には人数は多くても自立して学習していただける中学部を優先して複式化しております。

経験の長い講師でも小1・小2の複式はどうしても無理で、絶対に小1を複式化しなければならないのなら中学生(や小学校の最高学年)と組み合わせるなどする必要があるかと思えます。

(3) zoom 授業をどう評価に入れるか

現状の通知表をリスペクトしつつも、無理な項目は無理して評価しない点を保護者にお伝えしております。

例：忘れ物をしない・自分の持ち物の整理整頓など

(4) 学校開始時における注意点。もし、発熱者が出たら、どう対応するか (2 学期から登校再開を検討していますが、他校は開校されるのでしょうか? (1 週間前倒し、感染拡大防止対策について))

→基本的、消毒を授業後にすることと、毎回体調におかしいところはないかという事項を確認するよな方向性で検討中です。

(5) 今年の国際交流系行事はどうするか

もしよろしければ SDGs のプロジェクト学習にご参加下さい！

↓

【最後に】SDGs の第二回勉強会をスケジュール説明編として 7 月 5 日(日)の情報交換会#9 の後に開催しますので、詳しい情報は Facebook を参照して頂けるでしょうか。

ロチェスター日本語補習校

補習校について：

生徒数30人前後の小規模校として、複式授業は欠かせない授業形態である。今回のコロナ禍下でのオンライン授業に対して、本校は zoom を使ったライブ遠隔授業を5月より、通常90分授業を60分授業に変え開始した。しかし、本来複式クラス予定の中2小6クラスは単式クラス形態に変更した。理由としては、ライブ遠隔授業での複式授業形態の組み立てが、zoomの機能把握が伴わず、創り出すことが困難であったこと、授業時間が短縮したことで、単式クラスとして時間が作り出せたことからである。

また、本校では複式クラスは初等部高学年と中等部の学年が該当学年となることが多いが、小6中1、中2中3の組み合わせとは限らず、生徒の人数や生徒間の関係なども考慮して、小6中2など学年を超えた組み合わせにすることも多い。

従来の複式クラスの形態：

(例1)

小6中1の複式クラス (教師は教科制)

1 時限目：国語 90分

小6 授業	45分	中1 自習
自習	45分	授業

2 時限目：算数・数学

小6 授業	45分	中1 自習
自習	45分	授業

(例2) 算数数学

次ページに資料あり。

今後の課題：

再登校が可能になり、登校対面授業を行う上で、遅れている授業進捗も考慮しつつ、どのように効率的にカリキュラムを複式授業に組み立てていくかが課題である。

聞きたいこと：国語複式授業を行う上での年間のカリキュラムの立て方について。

複式授業プラン例 I

	小5	小6
8:45	宿題チェック テスト前の復習 教科書 pg.49 「たしかめよう」	(自習) 教科書 pg.51 補充問題 (コピーして配布)
8:55 9:05 9:15	(自習) 大判テスト「4章 小数のわり算」	宿題チェック 教科書 pg.52～53 の説明 5-2. 「比の性質」 教科書 pg.54 の説明 5-3. 「比の利用」
9:25 9:35	教科書 pg.55～58 5-1 「合同な図形」の続き 合同な三角形の描き方を説明	(自習) 教科書 pg.52～54 の問
9:45 9:55	(自習) 合同な三角形を実際に描いてみる 教科書 pg.57 ①, pg.58 ④ (方眼用紙を用意)	教科書 pg.55 の説明 5-3. 「比の利用」の続き
10:00 10:05 10:15	教科書 pg.59～61 の説明のみ 5-2. 「三角形や四角形の角」 (折り紙を用意)	(自習) 教科書 pg.55 の問 教科書 pg.56 「たしかめよう」
宿題	算数の学習：pg.34 ～ 39 算数ドリル：pg.21 ～ 24 (25 は任意) 計算ドリル：pg.30	算数の学習：pg.36 ～ 39 算数ドリル：pg.29 ～ 31 (32,33 は任意) 計算ドリル：pg.27 ～ 30 (31 は任意)
連絡事項	来週は教科書の残りの問題をしてから 次の大判テストをします。	来週は補充問題と教科書の問題の答え合わせを してから、大判テストを二枚やります。

複式授業プラン例 2

	中 1	中 2
10:30 10:40	(自習) 教科書 pg. 72 章末のまとめページ	大判テストにむけて質問を受ける (運動会後なので、いつもより念入りに) 教科書 pg. 41, 40 を使って復習
10:45 10:50 11:00 11:10 11:20 11:25	宿題チェック 教科書 pg. 66 ~ 69 の説明 2-5. 「関係を表す式」 (今日で 2 章が終了)	(自習) 大判テスト「2. 連立方程式」(コピー)
11:30 11:40 11:50 12:00	(自習) 教科書 pg. 69 ~ 71 の問題	宿題チェック 教科書 pg. 44 ~ 54 の説明 3-1. 「一次関数とグラフ」(きつい!) (方眼用紙、定規を用意)
宿題	教科書の問題の残り ワークブック pg. 47 ~ 49	ワークブック pg. 39 ~ 43 (できるところまででいいのでがんばって!)
連絡事項	来週はプリントで確認後、大判テストです。	来週は小テストやりません。多分再来週です。

🍀 マーストリヒト *****

2020年6月16日

マーストリヒト日本語補習校

複式クラスの時間割

午前 国語

9時15分～9時45分・・・2学年 A、B 新出漢字の学習

9時45分～10時15分・・・ 学年A 単式授業

もう一方の学年Bは、漢字テストへ

10時20分～10時50分・・・学年Bは、単式授業

もう一方の学年Aは、漢字テストへ

11時00分～11時30分・・・2学年 A、B 合同授業

11時30分～12時15分・・・お昼休み

午後 算数

12時15分～13時00分・・・学年A 授業

もう一方の学年Bは、課題学習 自習

13時15分～14時00分・・・学年B 授業

もう一方の学年Aは、課題学習 自習

🍀 オマハ *****

オマハ補習校での複式学級

*小6/中1学級 (担当 別所)

- 生徒は小6一人、中1二人。
- 1学期、zoomでのオンライン授業は各学年別々に45分ずつ5分の休憩を挟んだ2時限授業。各学年とも、1時限目はホームルームと算数(数学)、2時限目は国語の授業。
- ホームルームでは今週の出来事の発表、提出した宿題の中で間違えた箇所の確認、今週の宿題についての説明。算数(数学)は、教科書をワードにスキャンして書き込めるスペースを作り、zoomでシェアしてデジタルペンで書き込みながら説明。生徒もペンツールで問題を解き、書き込んだ。
- 2時限目、中1の国語は主にスクリーンでシェアしたワークシートの作業。音読、感想の発表も行った。小6はワードに貼り付けたスクリーンで教科書ワークのページをシェアし、一緒に問題を解いた。

*中2/中3学級 (担当 ケア)

- 生徒は各学年一人ずつ。中2は幼稚園からオマハ補習校在学、中3は今年度4月入学、それ以前の半年間は日本に、その前3年間はドイツに在住。
- 1学期のオンライン授業はDiscordを使用し、各学年別々に60分ずつ行った。
 - 中3：9:35～10:35
 - 中2：10:55～11:55
- 中2の授業は国語のみで、ワークシート作業を中心に行った(自家製ドキュメントカメラ使用)。数学は週ごとに作業内容と範囲を示した「授業の進め方」を作成し、生徒は独自に進めた。
- 中3は保護者の要求に応じて、ほとんどの時間を数学に使用。因数分解は教科書の進め方が早く、練習問題数が少ないので、オンラインのワークシートを使用。生徒はワークシートのファイルをプリントアウトして、授業に備えた。他の章は教科書の問題を白紙に書き、解く過程をドキュメントカメラで見せた。国語は生徒が「授業の進め方」に沿って、ワークシート中心の課題を自習する形式をとった。
- オンライン家庭教師のような状態になってしまったが、お互い馴染みのない二人ということもあり、短い1学期(10週間)の間はこの形態で通した。

オマハ補習校の通常的时间割

9:00～9:45 朝の挨拶、漢字テスト、来週の漢字チェックリストの意味調べ、国語

9:50～10:35 国語

10:40～11:25 国語

11:45～12:30 算数／数学

オマハ補習授業校 ケア尚子